

会報 こぶし

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
国際高等専門学校
金沢工业大学

VOL
76
2025.7

特集／可能性を広げる授業と研究

発想力で未来をデザイン

寄付金の7割が補助金に

ふるさと納税で
金沢工业大学を支援

第14回こぶし会総会

デジタル時代こそ対面の交流を

サツマイモ「紅はるか」の苗植えをする
国際高専の2年生と先生の記念撮影。
エンジニアリングデザインの授業の一
環で、農業におけるビジネスと獣害対
策に取り組んでいる



第14回 こぶし会総会

第14回こぶし会総会は金沢工業大学多目的ホールで、6年ぶりに対面での開催となりました。学園創立から60年以上が経ち、同窓会組織のあり方も変わりゆく中、いつの時代も心温まる交流の大切さを再確認しました。



全国各地から会員が出席し、事業内容を審議しました

デジタル時代こそ

対面の交流を

松田真一会長を再任

総会では、初めに松田真一会長（大学・情報処理・昭和50年卒）が「6年ぶりに対面で総会を開くことができ、皆さんの元気な顔を拝見できたのは非常にうれしい。石川県は、令和6年能登半島地震、大規模な水害に見舞われ、同窓会としても支援を続けている。オンラインが浸透し、いつでもどこでも会える時代となったが、対面での温かな交流に重きを置いていきたい」と挨拶しました。

また、来賓を代表して学校法人金沢工業大学の泉屋吉郎理事長（大学・電気・昭和45年卒）が「学校をめぐる現状は厳しいものがあり、これからも頑張り続けるしかない。同窓会活動の活発化は、学校を支える原動力となるので支援をお願いしたい」と祝辞を述べました。

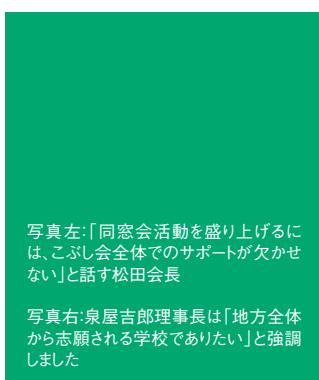
伊藤鉄和氏（大学・土木・平成6年卒）を議長に選任した後、令和6（2024）年度の事業報告と決算報告および令和7（2025）

年度の事業計画と予算が審議され、出席者から承認を受けました。最後に役員改選を行い、松田会長を再任し、新たな役員を選びました。

これから3年間の付託を受けた松田会長は「若返りを図るのが、これからの任期の課題となる。皆さんの力を借りて、微力ながら頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

写真左:「同窓会活動を盛り上げるには、こぶし会全体でのサポートが欠かせない」と話す松田会長

写真右:泉屋吉郎理事長は「地方全体から志願される学校でありたい」と強調しました





写真上:「事業報告や事業計画について討議しました



写真下:会員の理解が得られるよう丁寧な説明が行われました

[各委員会から提示された事業計画]

会報委員会

- 「会報こぶし」76号 = (7月)発行
- 「会報こぶし」77号 = (令和8年1月)発行

支部委員会

- 支部総会 = 4月1日～令和7(2025)年度末
- 九州・沖縄地区支部長会議 = 5月17日～18日(鹿児島)
- 中国・四国地区支部長会議 = 5月24日～25日(香川)
- 令和7(2025)年度全国支部代表者会議
= 6月14日、金沢工大酒井メモリアルホール
- 北信越地区支部長会議 = 7月20日(新潟)
- 東海地区支部長会議 = 8月23日～24日(静岡)
- 関東地区支部長会議 = 9月6日～7日(山梨)
- 東北・北海道地区支部長会議 = 9月27日～28日(山形)
- 近畿地区支部長会議 = 11月1日～2日(兵庫)
- 第29回全国一斉ボウリング大会 = 10月17日～11月16日

企画委員会

- サマーセッションin白山麓2025 = 7月26～27日、白山市瀬戸
- 第27回こぶし会ゴルフ大会 = 9月20日
- 第22回こぶし祭 = 10月19日

● こぶし会役員一覧

名誉会長 黒田 壽二 (保二会・電波専・昭和35年卒)

(大学・電気・昭和44年卒)

神 亮一 (保二会・電波高・昭和37年卒)

相談役 大澤 敏 (大学学長)

鹿田 正昭 (高専校長)
(大学・土木・昭和51年卒)

会長 松田 真一 (大学・情報処理・昭和50年卒)

副会長 中野 忠史 (保二会・電波高・昭和38年卒)

西谷 隆司 (高専・電気・昭和53年卒)
古橋 孝実 (大学・建築・平成8年卒)

理事 水野 四郎 (保二会・電波高・昭和39年卒)

中橋 勝美 (保二会・工大附・昭和41年卒)
北山 博 (高専・電気・昭和59年卒)

早川 義造 (高専・電気・昭和43年卒)

瀬川 明夫 (大学・機械・平成2年卒)
吉井 源治 (大学・電子・平成5年卒)

高木 由次 (大学・経営・昭和50年卒)
石富 智宏 (大学・土木・平成元年卒)

佐藤 和仁 (大学・建築・昭和59年卒)
加原 智彦 (大学・情報・平成7年卒)

村井 宜延 (大学・心理情報・平成22年卒)

伊勢 陽一 (大学・土木・昭和51年卒)
中村 幸蔵 (大学・電子・昭和63年卒)

水上 浩典 (大学・情報処理・昭和60年卒)
波多野 篤志 (大学・土木・昭和60年卒)

阪口 龍平 (大学・建築・昭和53年卒)
鳥谷 伸 (大学・土木・昭和51年卒)

川野 和彦 (大学・電気・平成13年卒)
泉屋 利明 (大学・情報・平成7年卒)

寺田 正人 (大学・土木・昭和54年卒)
野中 正樹 (高専・機械・昭和49年卒)

源野 統夫 (大学・建築・平成2年卒)
部谷 直宏 (大学・土木・平成3年卒)

杉本 栄三郎 (大学・情報処理・昭和57年卒)

監事 織田 正裕 (保二会・電波高・昭和38年卒)

釜戸 吉一 (高専・電気・昭和49年卒)

太田 詩朗 (大学・機械システム・平成7年卒)

参与 川向 義朗 (大学・経営・昭和48年卒)

野村 外茂雄 (高専・電気・昭和44年卒)

保二会総会

会員の健康増進に注力

母校が発展する好循環を

保二会総会は令和7(2025)年6月14日、金沢工業大学酒井メモリアルホールで開催されました。

総会では中野忠史会長(電波高・昭和38年卒)が「我々は金沢工大学園の礎をつくったという自負がある。会員の高齢化が進んでおり、健康を主眼に置いたプログラムを実施していく」と挨拶

しました。

引き続き、令和6(2024)年度の事業報告と決算報告、令和7(2025)年度の事業計画ならびに予算案と役員案が審議され、了承されました。

再任された中野忠史会長は「卒業生が幸せになりながら、母校が発展していくという好循環が生まれることを、これまで以上に願っていきたい」と述べました。



保二会では、病院と連携して生活習慣病に対処し、体調管理もしていくことも検討

金沢国際高専同窓会総会

新会長に西谷隆司氏(電気・昭和53年卒)

さらなる活性化を模索

金沢国際高専同窓会総会は令和7(2025)年6月14日、金沢工業大学多目的ホールで開催され、一層の発展を誓いました。

総会では野中正樹会長(機械・昭和49年卒)が「前回はコロナ禍のためリモートだったが、6年ぶりに対面開催となった。今後、さらなる活性化を図って

いきたい」と挨拶しました。国際高等専門学校の鹿田正昭校長が祝辞を述べました。

この後、令和6(2024)年度の事業報告と決算報告、令和7(2025)年度の事業計画と予算について審議し、拍手をもって全議案が承認されました。

最後に役員改選が行われ、西谷隆司副会長を新会長に選びました。



新会長の手腕に期待が集まりました

就任 挨拶

卒業生が新たなつながりを

金沢国際高専同窓会 にしたにたかし 新会長 西谷 隆司 (電気・昭和53年卒)

この度、金沢国際高専同窓会の会長という重責を押し、身の引き締まる思いです。金沢工業高等専門学校が築き上げてきた歴史と伝統は、国際高等専門学校に受け継がれ、これから新たな未来を切り拓いています。この二つの異なる潮流が交わり、新たな価値を創造することで、同窓会をさらに発展させていきたいと考えています。

金沢工業高等専門学校は、昭和37(1962)年の開校以来、半世紀以上にわたり北陸の産業界を支える多くの優れたエンジニアを輩出しました。平成30(2018)年には、国際高等専門学校へと校名が変更さ

れ、「エンジニアリングデザイン教育」を核とした国内屈指のボーディングスクールです。

今後、金沢工業高等専門学校と国際高等専門学校の卒業生たちが、学習環境や校風の違いを超えて、互いの価値観を尊重し、新たなつながりを築いていくことが、同窓会に課せられた重要なミッションであると認識しております。

この発展へのステップをクリアするには、会員の皆さんのご協力とご支援が不可欠です。皆さんと共に、金沢国際高専同窓会が未来へ向けて力強く歩んでいけるよう、全力を尽くしてまいります。



金沢工業大学同窓会総会

同窓生の思いを力に

絆を深め母校を支える

大学同窓会総会は令和7(2025)年6月14日、金沢工業大学多目的ホールで開催されました。

総会では、古橋孝実会長(建築・平成8年卒)が「一人一人の思いが、復興を目指す石川県、少子化の波に直面する母校を支える大きな力になる。絆を深

め、未来へと共に歩みたい」と挨拶し、山口敦史副学長が祝辞を述べました。

この後、令和6(2024)年度の事業報告と決算報告、令和7(2025)年度の事業計画と予算について審議し、全議案が承認されました。再任された古橋会長は「コロナ禍という厳しい時期もあったが、皆さんの協力によってさらに良い同窓会にしていきたい」と語りました。



大学との連携を強めていくことが重要だと認識を確認しました

こぶし会 交流会

6年ぶりに対面で交流



そこかしこで笑顔が弾けました

こぶし会交流会は、金沢工業大学21号館「ラテラ」で開かれ、出席者たちは6年ぶりの対面での再会を喜びました。

最初に松田真一こぶし会会長(大学・情報処理・昭和50年卒)と古橋孝実実行委員(大学・建築・平成8年卒)が挨拶し、松田会長の発声で乾杯しました。

会場では、テーブルを囲んで旧友たちとの会話が弾み、最後に各同窓会の会員が校歌を熱唱し、思い出の詰まった歌声が会場に響きました。

機扇会

多分野で活躍する会員を一つに 新会長に瀬川明夫氏 (機械・平成2年卒)

機扇会総会は令和7(2025)年6月14日、こぶし会総会に合わせて開催し、第5代会長に瀬川明夫氏を選びました。

18年間、会長を務めた中田政之前会長(機械・昭和61年卒)は「卒業生が自己実現を果たし、同窓会の親睦が深まる中で、学園が発展していくことを願っている」と任期を振り返りました。瀬川新会長は「時代のニーズに応える領域の広さが機械系学科の特徴であり、さまざまなフィールドで活躍する会員の同窓会活動を活発にしたい」と決意を述べました。



総会に集まった皆さん

琥珀会

会員が集う活動を 100年に向けて一丸

琥珀会総会は令和7(2025)年6月14日、金沢工業大学7号館で約40人が出席して開催されました。

総会では、吉井源治会長(電子・平成5年卒)が「昨年、設立50年を迎える、これからの50年の活動が盛り上がるよう知恵を絞りたい」と挨拶しました。

この後、金丸保典先生が「振り返り、そして先へ」、牧野滋先生は「研究開発に携わって今思うこと-企業の研究、大学の研究-」を演題に記念講演されました。また、懇親会では、変わらぬ友情を確かめました。



総会に出席した皆さん

こぶし会


入会の詞を読み上げる野田さん(左)と本田さん(上)

会員数は83,119名に 高専・大学で同窓会入会式

令和6(2024)年度の同窓会入会式が高専同窓会は令和7(2025)年3月1日、大学同窓会は3月14日にそれぞれ行われ、こぶし会の発展に欠かせない新会員の可能性に思いを馳せ、胸を躍らせました。

卒業式後に行われた入会式では、西谷隆司高専同窓会副会長(高専・電気・昭

和53年卒)が「こぶし会と高専同窓会の行事への参加を期待しています」、古橋孝実大学同窓会会长(大学・建築・平成8年卒)が「こぶし会と金沢工業大学同窓会とのつながりを生かし、母校や社会との関係を深めてください」と歓迎の言葉を贈りました。

高専では本田詩織さん(国際理工学科)、大学は幹事を代表して野田力矢さん(応用バイオ学科)が入会の詞を読み上げました。

今年の新会員は、高専同窓会が9名、大学同窓会が1,296名でした。

機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・
物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

278名の卒業生が機扇会に入会

機扇会賞は38名

学位授与式および学科に分かれての学位記手渡し式は令和7(2025)年3月14日に開かれ、278名(機械工学科159名、航空システム工学科29名、ロボティクス学科90名)の卒業生が機扇会に入会しました。

式では、プロジェクトデザインⅢで優秀な成果を挙げ、各研究室の指導教員より推薦された卒業生38名(機械工学科20名、航空システム工学科9名そしてロボティクス学科9名)に機扇会賞を贈りました。

機扇会では、在学生をエンカレッジするため研究奨励補助や授業におけ

るものづくり表彰を行っているほか、卒業生の機扇会員を対象とした交流会を実施しています。今後の活動に対してご理解いただくとともに、交流会などに積極的に参加いただければ幸いです。

なお、昨年のホームカミングデーにおいて、卒業して50年を経た先輩方と交流し、令和7(2025)年度も交流会を実施したいと計画しています。こぶし会ウェブサイトで詳細をお知らせ



中田会長から学生に機扇会賞を授与しました

しますので、定期的にのぞいてみてください。会員の皆さんも周年を記念した同期会などを企画し、旧友たちとすてきな時間を過ごしてみませんか。



166人が新たに入会

はなむけの言葉贈る

令和6(2024)年度入会式は、令和7(2025)年2月14日、新会員や先生方などが出席し、金沢工業大学21号館1階ラテラで開催されました。

最初に吉井源治会長(電子・平成5年卒)が祝辞を述べ、球睦会の活動などを説明しました。その後、古橋孝実金沢工業大学同窓会会長(建築・平成8年卒)、電気電子工学科主任の野口啓介教授(電子・平成2年卒)などが新会員に向けて、はなむけや激励の言葉を贈りました。

浦陸斗さん(大澤研究室)の司会の下、新会員を代表して山本太陽さん(津田研究室)が入会宣言し、新幹事に選ばれた二口蒼司さん(池永研究室)、佐野ひかりさん(柳橋研究室)、和田法大さん

(深見研究室)、服部翔貴さん(平間研究室)を紹介しました。卒業生ならびに教員が終始、にぎやかな雰囲気で歓談し、服部さんの万歳三唱で入会式を締めました。

今年の入会者は166名となりました。



新たに入会した卒業生の活躍を期待した吉井会長



入会を祝って乾杯する皆さん

■ ながつき会

土木工学科・環境土木工学科

ながつき会賞を授与

74名が入会

令和6(2024)年度入会式は令和7(2025)年2月14日、卒業を控えた学部4年次74名ならびに教員・ながつき会会員の計86名が金沢工業大学21号館2階「イルソーレ」で開催されました。

入会式は、卒業のお祝いと激励、「ながつき会入会式」を兼ねて実施しています。今年は55期生が入会し、村田健一郎さんが幹事として入会を宣言しました。

また17期生の善田善彦さん(土木・昭和62年卒)、47期生の高橋宗大さん(環境土木・平成29年卒)、47期生の山田秀麻さん(環境土木・平成29年卒)が祝辞を述べました。

ながつき会会員も参加したほか、教員ならびに学生がともに終始なごやかな雰囲気で懇談し、互いの絆を深めました。入会式の締めとして3期生の浦勝久さん(土木・昭和48年卒)がエールを贈りました。



ながつき会ゴルフ大会

- 日 時 令和7(2025)年8月9日(土)
- 会 場 ゴルフクラブ ツインフィールズ
- 申込締切日 令和7(2025)年7月31日(木)
- 申込先 下川孝(土木・平成元年卒)
FAX/076-208-4533
Eメール/ta-chan@beige.plala.or.jp

第II回総会

- 日 時 令和7(2025)年10月18日(土) 12:00~

※ゴルフ大会・総会など詳細につきましては、こぶし会ウェブサイトなどでお知らせします。



けいこうかい
経工会
経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科。
情報経営学科・経営情報学科

令和7(2025)年 8月23日(土) 10:00~

告知

経工会総会・ 異業種交流会を開催

会場

こぶし会多目的ホール
(対面とオンライン併用のハイフレックス型式)

総会後、第45回夏の異業種交流会を開催します。

● 第45回夏の異業種交流会 参加無料

講演／里見和彦氏(経営・昭和57年卒)

「江戸の大名の屋敷の経営(仮)」

こぶし会会員の方ならどなたでも参加できますので、経工会およびこぶし会ウェブサイトからお申し込みください。



第44回 冬の異業種交流会 分離融合型の新学科を創設

REPORT

令和7(2025)年1月18日、こぶし会多目的ホールで開かれ、金沢工業大学経営情報学科の徳永雄一教授が「経営工学科から経営情報学科へ、そして情報デザイン学部へ」と題して講演、今後の大学を展望しました。

徳永教授は、約60年前の校舎の写真を紹介し

ながら、今日までの教育改革の変遷を説明しました。令和7(2025)年4月からは「情報デザイン学部(経営情報学科・環境デザイン創成学科)」として生まれ変わることから、ビジョンの実現にいたる具体的な道筋を構想して、仲間と協働して行動できる人材の育成を目指すとしました。



経工会

高専同窓会

金沢工業高等専門学校、国際高等専門学校

細川禎洋さん(機械・昭和62年卒)が 初代優勝者の栄冠に!

第1回ゴルフ大会

第1回ゴルフ大会が令和7(2025)年5月25日、石川県金沢市の金沢セントラルカントリー倶楽部で開催され、細川禎洋さん(機械・昭和62年卒)が記念すべき初代王者に輝きました。

高専同窓会の新たな交流の場として、これからもゴルフ大会は継続する予定です。来年の大会では、多くの皆さんの参加をお待ちしております。



成績

- 優勝 細川 禎洋 さん(機械・昭和62年卒)
- 2位 田辺 正雄 さん(電気・昭和50年卒)
- 3位 宮下 郁平 さん(電気・昭和47年卒)

積木会

建築学科・居住環境学科・
建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

今秋、令和7(2025)年度 総会開催予定

昨年、社会情勢や災害等の影響を考慮し延期となっておりました総会につきまして、今秋に開催を予定しております。開催日時や会場などの詳細は決定次第、こぶし会ウェブサイトにてご案内いたします。



令和5(2023)年に行われた金沢ゴーゴーカレースタジアムの完成見学

✉ 扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科



10月18日(土)に総会・懇親会を開催

こぶし祭(工大祭併催)の開催に併せて、右記のように「扇翔会総会・懇親会」を開催いたします。今年は3年に1度の総会であり、情報処理工学科、情報工学科、メディア情報学科の卒業生の皆様の参加を心よりお待ちしております。

■ 総会議題

- ・収支決算及び事業報告について
- ・役員・幹事の改選について
- ・その他

■ 日時

令和7(2025)年
10月18日(土)10:00～

■ 場所

金沢工業大学21号館1階
※開催場所・時間の詳細は決まり次第、申込時に
ご登録いただくメールアドレスへお知らせします。

■ 会費

無料

■ 申し込み締切日

令和7年(2025年)10月11日(土)

● 申し込み先

扇翔会 総会・懇親会
申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/gj0slnvczz>



扇翔会

支部編

世代を超えたつながりを 石川支部総会・懇親会

石川支部の令和7(2025)年度総会・懇親会は4月26日、金沢市のANAホリディ・イン金沢スカイで開かれ、先輩後輩の垣根を超えて同窓生のつながりを深めることを誓いました。

総会では、米森信夫支部長(高専・機械・昭和45年卒)が「お世話になった学園に恩返しし、昔の仲間と楽しめる支部にしていきたい」と挨拶し、松田真一会長(大学・情報処理・昭和50年卒)が「最も会員数が多い石川支部が活性化することは、こぶし会活動に大きな力となる」と祝辞を述べました。



今後の石川支部の発展に期待して集まった出席者の皆さん

総会に続いて開かれた懇親会では、和泉行雄さん(大学・建築・平成10年卒)の発声で乾杯し、出席者は終始和やかに歓談しました。校歌が流された場面では、声高らかに歌う出席者の姿が見られました。中締めは殿村和也さん(大学・土木・昭和57年卒)が務められました。

● 令和6(2024)年度に開かれた支部総会(12月～3月)



沖縄支部の総会に集った皆さん



大阪支部と兵庫支部は合同で総会を開催しました





活発な意見交換を呼びかける松田会長

情報発信の工夫で活動を活発に

こぶし会全国支部代表者会議が令和7(2025)年6月14日、金沢工業大学酒井メモリアルホールで開催され、全国から支部代表者と支部委員らが出席し、情報発信を強化することで支部活動を充実させていく方法について意見交換しました。

会議では、まず松田真一こぶし会会長(大学・情報処理・昭和50年卒)が「今日は皆さんのご意見、特にデジタル活用などのアイデアを参考にしながら、より良い同窓会活動について考える有意義な会にしたい」と挨拶しました。

その後、大学同窓会会長を務める古橋孝実こぶし会副会長(大学・建築・平成8年卒)が、各支部からの提案や要望事項について説明しました。各支部からの「活動を周知するため、卒業生の連絡先を共有してもらいたい」との要望に対しては、

個人情報の管理は重要であり、提供できる情報はメールアドレスに限定し、その提供先も支部長のみとすることを確認いたしました。

各支部の取り組みとしては、岡山支部の出原道雄支部長(大学・機械・昭和56年卒)が「バーベキュー大会が好評で、中四国の支部から多くの方が参加している。地元新聞社に取材してもらい、活動をPRしている」と報告しました。

デジタル活用の話題では、東京支部の香田祐毅支部長(大学・建築・平成21年

卒)が、「同窓会イベントの案内ハガキにアンケートフォームにつながる二次元コードを記載したところ、若い世代からの回答率が高かった。今後も積極的に活用したい」と述べました。

また、兵庫支部の黒瀬将一支部長(大学・機械システム・平成2年卒)は、同支部や大阪支部でもアンケートフォームを活用しており、「回答率は向上しているものの参加者数自体は増えていない。長期的な視点で呼びかけを続けたい」との意見を示しました。

そのほか、インスタグラムやフェイスブックを活用した情報発信の具体例についても報告があり、実のある会議となりました。



金沢工業大学の保護者会である拯友会の会合の際に、岡山支部の活動をまとめた掲示物でPRしたいと話す岡山支部長



徳島との直行便がある香港へのツアーを企画し、参加を呼びかける林貴子徳島支部長(大学・電気・平成10年卒)



家族で同窓会活動に参加してもらえるように、江ノ島水族館への訪問イベントを検討しているという菱川英海神奈川支部長(大学・機械・平成3年卒)

告知 支部総会のお知らせ

徳島支部／和風ダイニング どまん中

7月19日(土) 18:30

愛媛支部／ANAクラウンプラザホテル松山 6F 雲海

7月19日(土) 18:30

新潟支部／ニューオータニ長岡

7月20日(日) 18:00

道東支部／オホーツクビアファクトリー

7月26日(土) 18:00

山梨支部／レストラン ニコラス

7月26日(土) 18:00

岐阜支部(高山)／居酒屋 心介

7月26日(土) 18:30

京都支部(京都)／がんこ 高瀬川二条苑

7月26日(土) 18:30

今後開催の決まった各支部につきましては、
こぶし会ウェブサイトで紹介します。



こぶし会

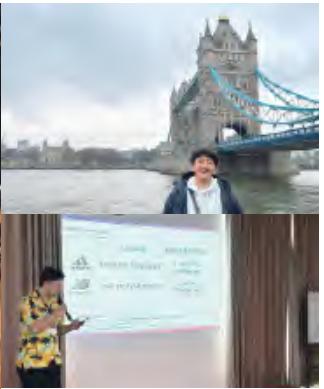
新支部長紹介

秋田支部長

きくち ひさよし
菊地久美氏
(大学・建築・昭和55年卒)



現場での体験を語る学生。留学・研修が
学生の成長につながっています



上:留学先・ロンドンのタワーブリッジで記念撮影
下:プログラム課題について最終発表を行なう井上さん

● こぶし会が国際交流事業を支援

学生が留学で大きく飛躍

こぶし会では、平成27(2015)年度から国際高等専門学校と金沢工業大学が実施している国際交流プログラムを支援しています。令和7(2025)年5月14日に行われた留学支援報告会では、カンボジアなど学んだ学生が、現地でしか得られない経験を話しました。

この日は、カンボジア、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドで研修・留学した学生が登壇し、写真などを交えながら現地での様子をプレゼンテーションしました。

アメリカのマイアミビーチ校を訪れた大倉潔さん(メディア情報学科)は、「日本とは大きく異なった習慣、デザインに出会うことができた。今後も日常的に

に英語を話す機会をつくることを心がけたい」と語りました。

カンボジアでのSDGsインターンシッププログラムに参加した白江佳怜さん(建築学科)は、英語での発表が自信になったとし、「自分の強みと弱みを知るきっかけとなった」と笑顔を見せました。

こぶし会では、今後も国際交流事業に参加する学生への支援を続けます。



国際高等専門学校

エンジニアリングデザイン

ICT

※アグリとは…「農業」を意味する英語の "agriculture" (アグリカルチャー)を略した言葉で、広範囲な意味での農業を示す。

01 CASE

アグリビジネスと 獣害対策で地域振興

高専紅はるか(サツマイモ)の ブランド化に取り組む

国際高等専門学校2年生は、課題解決型の授業「エンジニアリングデザイン」で、校舎前の休耕田2アールを活用した地域活性化を目指す「Agriculture Innovation Project」に5年前から取り組んでいます。

プロジェクトでは、「アグリビジネス班」と「アグリテック班」に分かれて活動しています。

アグリビジネス班は、学生がサツマイモの紅はるかを栽培し、「高専紅はるか」というブランド名で事業展開しています。広告宣伝から販売、収支決算まで、「農業法人」の経営ビジネスを実践します。ブランド化を進める上で、マスコットキャラクターを開発し、キーholderやマグネットなどのグッズも製作しました。

アグリテック班は、獣害対策システムの研究開発に取り組んでいます。ドローンの自動操縦プログラムや離着陸ステーションの開発のほか、ニホンザルの写真をAIに学習させた監視システムと連動してスマートフォンから通知が来るシステムの構築を目指しています。

売り上げアップ目指し 地域住民との交流も

この授業は、毎週木曜日に行われており、令和7(2025)年4月25日には、2年生11人による「苗植え」が行われました。

学生たちは耕運機で土を掘り起こし、9列の畝に農業用マルチを被せ、紅はるかの苗350本を植えてきました。

昨年初めて黒字化を実現し、今年は300キログラムの収穫が見込まれ、学生たちは「さらなる売り上げのアップを」と意気込みます。

アグリビジネス班の万江琴莉さんは「9月の収穫が楽しみ。缶バッヂなどのグッズをつくってみたいですし」と話し、サツマイモの販売を通じて地域住民との交流も深めたいと笑顔を見せます。



畠を見回り、ニホンザルを威嚇する地上用ローバー(探査車)の開発に挑戦

11月上旬に 祭りを開催!

例年10月下旬から11月末まで、「道の駅瀬女」と「キジトラコーヒー研究所」と連携して「紅はるか祭り」を開催しています。コラボ商品として「ソフトクリーム」などが販売されます。また、11月上旬に、道の駅瀬女で国際高専生が「高専紅はるか」の焼芋販売を行います。

上:学生自らが焼き芋を店頭販売
左:ソフトクリームの上に高専紅はるかのチップスをトッピング

未来を
デザイン

発 想 力 で



目覚ましい速さで進化を続ける現代社会。柔軟な発想が未来を切り拓く力となります。日々、成長を続ける学生たちの姿を追うとともに、それを支えるように進歩を続ける最新の情報技術の可能性に注目します。

VRコンテンツの開発に取り組む
中沢教授(左)と学生たち

金沢工業大学

KIT メディア情報学科
中沢憲二研究室

ビデオチャットの不便を解消

社会がデジタル化する中、コミュニケーションやエンターテインメントのあり方は変化しています。金沢工業大学の中沢研究室では、そうした未来を先取りする研究に取り組んでいます。その一つが、ウェブ上で会話する「ビデオチャット」の機能向上に関する研究です。

コロナ禍を機に普及したビデオチャットは、今や日常に欠かせないコミュニケーション手段です。一方、画面越しでは相手の表情や反応が読み取りにくく、特に参加者が多いと一人一人の様子を把握しづらい課題があります。私たちは通常、聞き手の反応を見ながら話し方を変えていますが、その判断が難しくなるのです。

そこで同研究室では、参加者の表情をリアルタイムで解析し、「笑顔」「驚き」「困惑」などの感情を顔文字風アイコンで画面に表示するシステムを開発しました。これにより、話し手は聞き手の反応を直感的に把握できます。

五感を刺激し臨場感を生む

中沢研究室では、VR(仮想現実)技術を進化させるコンテンツ開発にも力を入れています。

例えば、カヤック体験ができるVRコンテンツでは、CG映像をVRゴーグルに映し、音響をスピーカーから再生するだけでなく、映像とファ

ンモーターを連動させるシステムを導入しました。ユーザーがコントローラーで漕ぐ動作を速く行うほど風が強く送られるようにし、水上にいるかのような臨場感を実現しています。

音楽を研究テーマに選ぶ学生も少なくありません。例えば仮想空間でコンサートを鑑賞できるコンテンツでは、ユーザーは会場内を移動でき、楽器との距離によって音の大きさが変化します。ステージに上がって楽器のすぐそばで演奏を聴いたり、屋外の演奏会場にワープしたりと、仮想空間ならではの自由さでユーザーの想像力を刺激します。

開発はユーザー目線で

中沢研究室では、「こんなことができたら便利だろうな」「こんな体験があれば楽しいはず」といったユーザーの視点に立った発想を重視しています。中沢教授は「学生たちには自ら社会のニーズを発見し、それに応えるサービスやコンテンツを開発していく人材になってほしい」と語ります。

同研究室では将来的に、心拍や脳波といった生体信号からユーザーの感情を分析し、コンテンツの機能向上につなげる技術の開発を目指しています。より深いコミュニケーションや、臨場感あふれるユーザー体験を生み出すための研究は続きます。

02
CASE

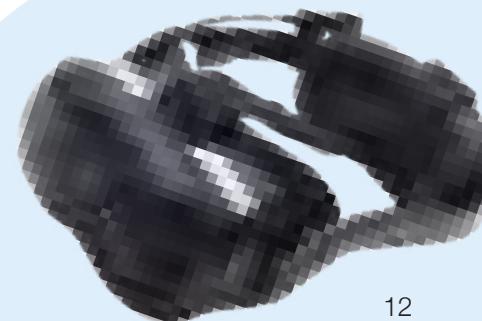
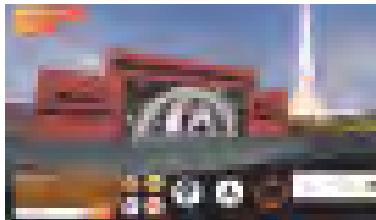
技術とアイデアで
リアルを超えた体験を

写真左

仮想空間内を自由に移動しながら音楽ライブを楽しめる学生発案のコンテンツ。コロナ禍で相次ぐライブ中止を受けて「自分たちらしい形でライブを皆と一緒に楽しみたい」との思いで開発した。実際の演奏映像を使用し、ライトアップなどの演出に加え観覧者同士のコミュニケーションも可能となっている

写真右

アバターを用いたビデオチャットツールの研究も進んでいる。利用者は自身の分身であるアバターの性別や髪・目の色、服装などを自由にカスタマイズして自己表現することができる。利用者の表情を解析し、リアルタイムでアバターに反映するアニメーション技術も用いられている



ふるさと納税制度で 金沢工業大学を支援

寄付金の7割が大学の補助金に

金沢工業大学は、石川県野々市市のふるさと納税の対象となりました。集まった寄付金の7割は補助金として大学に交付されます。教育・研究活動の一層の推進に向け、この制度を利用した皆さんをはじめ、大学にゆかりのある方におきましては、ふるさと納税による母校への温かい支援をお願いいたします。



▲ふるさと納税サイト「さとふる」で申請

▶制度を利用するメリット

寄付金から自己負担額の2,000円を超える額が、翌年の**住民税**から**原則、全額控除**されます（全額控除される寄附金額には、収入や家族構成等に応じて一定の上限がありますので、ご確認ください）。また、**所得税**も一部、控除の対象となります。

▶申込手続きをしていただく際の注意点

- ご寄付に伴う「返礼品」の贈呈はございません。
- 1口の金額は1万円、5万円、10万円が選べます。
- 「資金選択」については、【7.「市政全般」への支援】をご選択ください。

▶ご寄付の申込方法

パソコンやスマートフォンで
簡単に申し込みできます。

■スマートフォンの場合

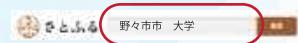
下記の二次元コードから
お申し込みください。



さとふる

■パソコンの場合

さとふるウェブサイトの上部に
ある検索ウインドで「野々市市」「大
学」と入力・検索してください。



※「ふるさと納税ワンストップ制度」も利用できます。

〔お問い合わせ〕

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1

学校法人 金沢工業大学 資金局 TEL:076-248-9868 (直通) / FAX:076-248-9934 (直通) Eメール:kifu@kanazawa-it.ac.jp

当選者は
20名!!

会報こぶしこぶしあいの会ウェブサイトで2問を出題

クイズの学園

VOL
27

会報こぶしこぶしあいの会ウェブサイトが連動して、クイズを出題します。
応募するにはそれぞれの答えが必要ですので、注意してください。

第1問 会報こぶし(76号)からの出題 /



●●紅はるか

誌面の中から当てはまる言葉を探してください。
ヒント:P11をチェック!

第2問は こぶしあいの会
ウェブサイトで出題 →



応募方法

同封しているインフォメーションカードに、会報こぶしこぶしあいの会ウェブサイトで出題されたクイズの答え2つを記入してお送りください。正解者の中から抽選で20名の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。



締切

令和7(2025)年
10月2日(木)当日必着

正解発表

正解は令和7(2025)年10月6日(月)にこぶしあいの会ウェブサイト上で発表します。

こぶしあいの会

検索

森吉貴大助教が「Mars Touch Project」に参画

展開型エアロジェル技術の実用化へ

宇宙への関心が高まる中、金沢工業大学工学部航空宇宙工学科の森吉助教が、NeSTRA(次世代宇宙システム技術研究組合)などが研究開発する「Mars Touch Project」の設計者の一人に選ばれました。

このプロジェクトでは、革新的な大気圏突入システムである「展開型エアロジェル技術」の開発及び実証を行います。エアロジェルとは宇宙機が大気圏に突入する際に、その機体を熱と圧力から保護し、減速させる熱シールドのことです。今回のミッションでは、火星着陸探査の実現と、地球への帰還の低コスト化や高信頼性化を目指します。

NeSTRAは、藤倉航装株式会社及び株式会社ElevationSpaceと共に、地球での技術実証、そして火星探査機に求められるレベルの機体開発に取り組みます。森吉助教はNeSTRAの主任研究員として、展開型エアロジェル開発を主導し、突入機



©JAXA

展開型エアロジェルが火星に降下するイメージ図

体全体のシステム設計も担当します。

火星探査は、アルテミス計画の進展を踏まえ、2030年代以降の国際的な宇宙開発における主要な舞台となると見られています。また、地球低軌道や月などから大気圏に突入し、安全

に帰還するというニーズは、今後も高まることが予想されます。この展開型エアロジェル技術が宇宙ビジネスのキー技術となり、国内外の宇宙ビジネスのさらなる展開が期待されます。

インフォメーションカード

住所などの確認に協力を

本人や勤務先の情報は、「会報こぶし」の発送などに必要です。変更があったときは、インフォメーションカードの情報を更新した上で、事務局への返送にご協力ください。

▶ 変更がない場合

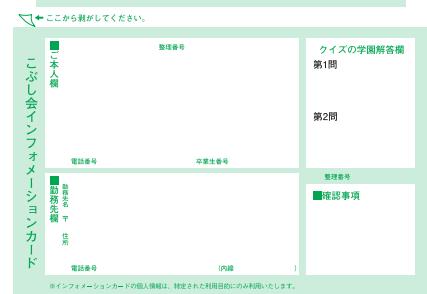
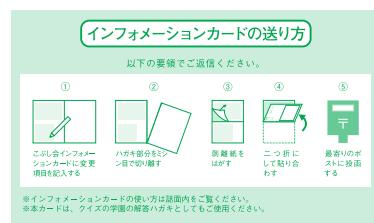
カードの返信は不要です。

▶ 変更がある場合

住所、氏名、会社名などの情報を更新し、カードをお戻しください。

確認事項

- 1.転居 2.異動 3.社名変更 4.転職 5.その他





こぶし会 会計報告

令和6年度 保二会決算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31		
大科目	中科目	決算額(円)
活動費収入	活動費収入	1,157,741
雑収入	その他収入	2,496,013
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,653,754

■支出の部 R.6/4/1-R.7/3/31		
大科目	中科目	決算額(円)
経常費	事務局費	114,788
助成費	助成費	3,538,966
慶弔費	慶弔費	0
合 計		3,653,754

令和7年度 保二会予算書

■収入の部 R.7/4/1-R.8/3/31		
大科目	中科目	予算額(円)
活動費収入	活動費収入	400,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		400,000

■支出の部 R.7/4/1-R.8/3/31		
大科目	中科目	予算額(円)
経常費	事務局費	170,000
助成費	助成費	200,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		400,000

サポートします!

こぶし会同窓会応援

こぶし会では、卒業生のクラス会や研究室(ゼミ)、部活動等の同窓会の開催を支援しています。



94年卒建築学科同窓会



金沢工業高等専門学校卒「ひょっこり会」



金沢高専・卓球部OB・OG会

支援内容

30人以上の団体に対し、1人500円相当の支援金を提供します。

●問い合わせ こぶし会事務局

令和6年度 こぶし会決算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31		
大科目	中科目	決算額(円)
会費収入	正会員会費収入	43,860,000
	維持会費収入	3,315,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	69,459,525
雑収入	貯金利息収入	1,421
	その他の収入	6,204,773
繰越金収入	繰越金収入	88,387,445
合 計		211,228,164

■支出の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	決算額(円)
経常費	事務局費	483,542
事業費	会報費	21,173,649
	支部費	12,753,675
企画費		2,691,952
同窓会助成費	保二会	3,653,754
	高専同窓会	220,349
	大学同窓会	3,244,362
学生支援事業費	学生支援事業費	257,410
積立基金	積立基金	80,000,000
繰越金	繰越金	86,749,471
合 計		211,228,164

令和7年度 こぶし会予算書

■収入の部 R.7/4/1-R.8/3/31		
大科目	中科目	予算額(円)
会費収入	正会員会費収入	44,670,000
	維持会費収入	4,000,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	14,976,000
雑収入	貯金利息収入	1,000
	その他の収入	3,300,000
繰越金収入	繰越金	80,000,000
合 計		146,947,000

■支出の部 R.7/4/1-R.8/3/31

大科目	中科目	予算額(円)
経常費	事務局費	2,940,000
事業費	会報費	25,530,000
	支部費	27,219,000
企画費		6,837,000
総会費	総会費	8,524,640
同窓会助成費	保二会	400,000
	高専同窓会	828,000
	大学同窓会	6,011,000
学生支援事業費	学生支援事業費	100,000
積立基金	積立基金	30,000,000
予備費	予備費	38,557,360
合 計		146,947,000

令和6年度 金沢工業大学同窓会決算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31		
大科目	中科目	決算額(円)
活動費収入	活動費収入	3,244,362
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,244,362

■支出の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	決算額(円)
経常費	事務局費	314,222
助成費	助成費	2,930,140
慶弔費	慶弔費	0
合 計		3,244,362

令和7年度 金沢工業大学同窓会予算書

■収入の部 R.7/4/1-R.8/3/31		
大科目	中科目	予算額(円)
活動費収入	活動費収入	6,011,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		6,011,000

■支出の部 R.7/4/1-R.8/3/31

大科目	中科目	予算額(円)
経常費	事務局費	598,000
助成費	助成費	5,378,000
慶弔費	慶弔費	35,000
合 計		6,011,000

イノベーションで、 新たなムーブメントの創出を

先ずもって卒業生の皆さんにおかれましては、社会でのご活躍、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本学園に対しまして多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私はこの度、石川憲一名誉学長の後任として特別奨学事業寄付金募集委員長を拝命した、平成5年第27期金沢高専(電気工学科情報工学コース)、平成7年第22期大学(工学部情報工学科)、平成13年大学院(工学研究科博士課程情報工学専攻)をそれぞれ卒業・修了した泉屋利明です。前委員長よりバトンを引き継ぎ、新たな気持ちでスタートいたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、金沢工業大学は令和7年6月1日に設立60周年を迎えました。大学設立当時の我が国は戦後のベビーブーム終焉と長寿社会到来へ既に転換しておりました。その後、出生率低下による人口減少は進展し続け、とりわけ地方における人口減少は深刻な状況となっております。

こうした中で私たちの母校は長年にわたり工学による社会課題解決を図るべく、「社会から信頼され、必要とされる学園」「学生にとって魅力ある学園」であり続けるため、卓越した教育、研究、そしてそれを支援するためのサービスの実現に向けて、「工学アカデミア計画」へのご寄付をお願いしてきました。昨年の能登半島地震をはじめとする自然災害からの復興支援にも力を入れており、同窓会の皆さまからの温かいご寄付は、被災した学生たちの大きな支えにもなっております。

このような正課外のさまざまな活動等に必要な財源として寄付金は極めて重要となっております。一方で諸物価高騰のおり、母校へのご寄付は少しハードルが高いかもしれません。しかし、少額のご支援でも、多くのご賛同があれば大きな力となり、社会の共有財産でもある母校の未来を大きく左右

する原動力となり得ます。

我が国は今後も人口減少・労働力不足の基調が続く中で、世界規模において社会課題は山積しており、工学を軸とした本学が担う専門領域に求められるニーズは極めて大きいと考えております。このような状況を踏まえ、次なる10年を見据え、出来るだけ多くの方々が賛同いただき、イノベーションによってムーブメントを創出する施策を実行できるよう、今後、合意形成に向けての活動を進めてまいる所存です。

未来を担う後輩たちの成長を応援いただき、社会の共有財産でもある母校が社会課題解決を図るグローバルイノベーターの育成輩出を通じて社会貢献できる喜びを、皆さまと共にぜひ分かち合いたいと考えております。皆さまの温かいご支援を引き続きお願い申し上げます。

最後に前会報75号に引き続き令和6年10月1日～令和7年3月31日までにご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただき重ねて感謝申し上げます。

寄付者名一覧

令和6年10月1日～令和7年3月31日

(敬称略・五十音順)

【個人】

安藤友一、池野晋也、石井靖彦、井上幸治郎、今井潤、岩川博、上原稔、大島正敬、加瀬達志、金森洋三、兼井洋介、鳥谷伸、北村和光、楠本晴久、窪田健太郎、黒田壽二、小中博之、坂野信夫、阪本晃二、佐々木寛治、佐藤晃、塙谷四月、

寄付者銘板掲載基準

	名称	法人・団体	個人
1	栄誉功労顕彰	30,000万円以上	3,000万円以上
2	特別功労顕彰	10,000万円以上	1,000万円以上
3	功労顕彰	5,000万円以上	500万円以上
4	特別功績顕彰	1,000万円以上	100万円以上
5	功績顕彰	100万円以上	30万円以上



いずみや としあき
泉屋 利明

特別奨学事業寄付金募集委員長

鈴木誠一、千徳英一、高野宏康、橘寿一、橘守、谷口勝則、田村崇、津田政明、中田孝幸、中村幸蔵、中村信一、並田和明、野口啓介、芳賀啓一、羽生田覚、濱本佑典、原伸一、東久人、飛田憲一、福光憲征、古田佳男、前川峰範、前田正英、松下弘忠、松田真一、松本正裕、水澤大輔、宮村壽、本志郎、本均、森本喜一郎、谷地貞男、山下宏志、山田昇、吉本重幸、渡辺悦史(他に匿名希望25名を加え全83名)

【法人】

株式会社アクトリー、株式会社学侑社、株式会社タクミナ、タケダ機械株式会社、橋建設株式会社、辰野建設工業株式会社、山一精工株式会社、株式会社山本金属製作所(全8社)

尚、令和5年度と令和6年度の寄付者に関しては、ご芳名を学園ウェブサイトにも掲載しておりますので、ご参照ください。

最後になりましたが、本学園は工学アカデミアの建設に今後も邁進してまいりますので、こぶし会会員の皆さま方には一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

<特別会員>		平成 21 年 6 月 小酒 雅博 (高専・電気・S54)	小林 幸夫 (大学・土木・S47)
令和 7 年 4 月 北本 喜一郎 (電波教員・高専教授)		10 月 松本 修次 (保二会・工大附・S42)	丸山 清彦 (保二会・電波高・S38)
<正会員>		平成 22 年 5 月 荒屋 賢治 (大学・人間情報・H19)	2 月 野村 弘 (大学・情報処理・S58)
河村 章司 (大学・建築・S56)		平成 27 年 1 月 三輪 省太 (大学・機械・H24)	3 月 福田 知見 (専攻科・電気専攻・S48)
中川 義明 (高専・機械・S46)		平成 29 年 6 月 堀上 克弥 (大学・建築・S61)	河野 醇平 (大学・電気・S47)
東 邦宏 (高専・電気・S48)		令和元年 9 月 逢阪 浩一 (大学・機械シス・H2)	畠山 清至 (大学・土木・S58)
竹内 和弘 (大学・建築・S53)		12 月 小林 智大 (大学・メディア・H25)	阿部 一成 (大学・電子・S59)
松蔭 孝二 (大学・機械シス・H8)		令和 2 年 4 月 土屋 孝大 (大学・建築・H27)	4 月 柿 利幸 (保二会・電波・S36)
水野 政和 (大学・情報通信・H23)		令和 3 年 1 月 手塚 泰夫 (保二会・電波専・S32)	山田 武 (大学・建築・S50)
阿羅 敏男 (保二会・工大附・S44)		2 月 横山 勝義 (高専・機械・S43)	宮村 健三 (保二会・電波専・S35)
渡邊 一恵 (大学・情報・S63)		11 月 望月 栄治 (大学・機械・S51)	5 月 岡本 真兒 (大学・情報・H元)
堅田 正博 (高専・機械・S45)		令和 4 年 3 月 川田 詞義 (大学・経営・H11)	池田 誠一 (大学・土木・S52)
酒井 哲司 (大学・機械・S53)		6 月 本田 利彦 (高専・機械・S49)	藤田 一郎 (高専・電気・S44)
渡部 力也 (大学・建築・S50)		7 月 梶橋 正峰 (高専・電気・H3)	駒津 豊 (大学・電気・S47)
中岡 宏支 (大学・電気・H10)		9 月 喜多 直樹 (大学・建築・S61)	6 月 片原 力三 (大学・建築・S56)
監物 浩二 (大学・電子・S62)		令和 5 年 7 月 桟敷 敏治 (大学・電気・H6)	高崎 邦彦 (保二会・電波専・S35)
渡邊 伸彦 (大学・電気・H10)		8 月 梶橋 正峰 (高専・電気・H3)	越田 悅弘 (大学・電気・S44)
吉田 哲郎 (保二会・工大附・S44)		9 月 喜多 直樹 (大学・建築・S61)	7 月 山下 建一 (大学・経営・S46)
武田 洋一 (大学・機械・S49)		令和 5 年 7 月 蟹川 孝幸 (大学・土木・S47)	濱名 修 (大学・経営・S58)
松村 俊秋 (大学・土木・S59)		8 月 加藤 重昭 (大学・電気・S51)	坂元 和喜 (大学・機械・S52)
平成 4 年 11 月 坂井 正範 (大学・機械・S46)		9 月 横道 順一 (大学・情報・S52)	
		令和 6 年 1 月 中西 満 (高専・機械・H元)	
		井上 清一 (修士・情報専攻・H12)	
		折戸 敏幸 (高専・電気・S46)	
		久保 次良 (高専・電気・S46)	



懐かしの母校で友と共に

金沢工業大学（扇が丘キャンパス）

ホームカミングデー
卒業 50 年セレモニー

国際高等専門学校

ホームカミングデー

10月18日 土

開催予定

令和7(2025)年

令和7(2025)年
10月19日 日
こぶし祭

開催予定

ひぐち しんじ
樋口 真嗣 さん 講演会

プロフィール

1965年9月22日生まれ。2016年公開の『シン・ゴジラ』では監督と特技監督を務め、第40回日本アカデミー賞最優秀作品賞と最優秀監督賞を受賞。2025年Netflixから配信の「新幹線大爆破」(Netflix)は世界第2位にランクイン。



おわび

会報こぶし 75 号 P15 におきまして、樋田久則さんの文中で誤りがありましたので訂正いたします。
誤 少林寺拳法のクラブを立ち上げ → 正 少林寺拳法のクラブで、

8月 中島 昭悦
(大学・経営・S48)
小山 満幸
(大学・土木・S46)
中川 雅晴
(保二会・工大附・S43)
茶谷 功
(大学・経営・S54)
青木 徹
(大学・経営・S52)
善積 敏宏
(大学・経営・S49)
東 敏郎
(大学・経営・S46)
上田 民夫
(保二会・電波高・S40)
9月 園下 貴晴
(大学・ロボテ・H24)
黒田 千尋
(高専・電気・S54)
宮崎 勝洋
(保二会・電波専・S38)
金子 福夫
(保二会・工大附・S45)
吉藤 貢
(保二会・工大附・S42)
10月 望月 一美
(大学・経営・S54)
新栄 修
(大学・建築・S59)
高田 一郎
(大学・機械・S46)

11月 箕浦 佑香
(高専・電気・H9)
大村 尚悟
(大学・建築・S53)
野田 勝己
(大学・土木・S53)
北村 茂行
(大学・電気・S48)
高川 一信
(大学・建築・S49)
川辺 勝弘
(高専・電気・S49)
吉村 一昭
(大学・土木・S48)
久田 正章
(大学・土木・S46)
松本 徹也
(高専・機械・H10)
松本 実
(大学・機械・S56)
沖沢 勝
(大学・経営・S54)
壬生 博人
(高専・電気・S44)
中川 正博
(高専・機械・S56)
福井 哲
(大学・機械・S47)
高田 泰精
(保二会・電波高・S39)
花外 敦
(大学・電子・S62)

駒田 均
(保二会・工大附専・S42)
原 登美雄
(大学・経営・S53)
牧野 孝之
(大学・経営・S54)
横山 誠一
(大学・経営・S50)
緒方 浩
(修士・知的専攻・H21)
1月 大和 将寛
(大学・航空シス・H30)
奥田 正人
(大学・電気・S56)
宮嶋 一樹
(高専・機械・H20)
上田 真哉
(大学・機械・H26)
瀬古 篤之
(大学・土木・S48)
網江 修
(保二会・電波高・S40)
山田 正広
(高専・電気・S45)
瀧波 龍一郎
(大学・情報処理・S50)
須田 康雄
(保二会・電波・S35)
高間 敏一
(大学・経営・H4)
山本 智行
(大学・電気・S52)
南野 好邦
(高専・電気・S42)
依田 幸久
(大学・機械・H8)
2月 鈴木 克也
(大学・土木・S54)
中林 謙治
(高専・電気・S48)

龍 作太郎
(保二会・電波高・S40)
寅若 正二
(保二会・電波高・S39)
3月 米里 秀一
(保二会・電波高・S40)
西川 進
(保二会・電波高・S40)
木越 登
(高専・電気・S42)
羽立 利昭
(大学・土木・S62)
中野 誠
(保二会・電波・S35)
江川 英二
(大学・土木・S52)
高田 晃一
(大学・建築・S55)
越田 和也
(保二会・電波高・S40)
4月 五十嵐 尚
(大学・土木・S60)
出口 徹
(修士・建築専攻・H13)
廣部 重和
(大学・情報処理・S60)
大平 恵一
(大学・建築・S53)
寺島 雄市
(大学・機械・S50)
毎田 太吉
(保二会・工大附・S41)
5月 奥村 健
(保二会・工大附・S41)
小林 清一
(大学・情報・S58)

香林利男先生 (保二会・電波高・S39)

高専名誉教授



令和6(2024)年12月23日、逝去。79歳。北陸電波高等学校専攻科修了後、金沢工業高等専門学校の教員となりました。教鞭を執りながら金沢工業大学大学院電気電子工学専攻で博士号を取得するなど、生涯にわたって自己研鑽に努められました。

加藤恭子先生 (保二会・電波専・S36)

大学名誉教授



令和6(2024)年12月28日、逝去。84歳。昭和45(1970)年に金沢工業大学講師となり、助教授を経て、平成4(1992)年に教授に昇任されました。電気通信技術を基盤とした情報分野に精通したほか、長年、学生の進路指導に当たられました。

松村嘉之さん (高専・電気・S42)

金沢工業高等専門学校同窓会初代会長



令和6(2024)年12月13日、逝去。77歳。石川県金沢市出身。温厚な性格で明るく、誰からも愛されました。強いリーダーシップと迅速な行動力が卒業生を牽引し、金沢高専同窓会やこぶし会、全国支部の設立に大きな功績を挙げました。

令和6(2024)年秋と
令和7(2025)年春の叙勲で
次の方々が受章されました。

叙勲などの慶事を誌面でご紹介いたしますので、
こぶし会事務局まで情報提供をお願いいたします。

旭日単光章

西田 孝伸氏
(高専・電気・昭和 47 年卒)

瑞宝双光章

吉田 文雄氏
(大学・情報・昭和 52 年卒)

瑞宝小綬章

橋本 政人氏
(高専・機械・昭和 49 年卒)

瑞宝单光章

土居 昌司氏
(大学・機械・昭和 58 年卒)

瑞宝双光章

中川 和信氏
(大学・経営・昭和 52 年卒)

瑞宝单光章

沼尻 建氏
(大学・経営・昭和 59 年卒)

編集後記

◆新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの社会は大きく変わりました。日々の活動が制限を受ける中、生活に「つながり」をもたらしたのはオンラインでした。今年の総会は、6年ぶりに対面での実施となり、久しぶりに皆さんの顔を見られたのは格別の喜びです。オンラインというツールなども活用しながら、こぶし会活動を活発にする新たなアイデアが生まれてほしいものです。

◆会報委員長として編集に携わるのは、今号で最後となります。9年間にわたって職責を果たせたもの、会報誌を読んでいただいた会員をはじめ、会報委員会の委員の協力があってのことだと思います。「学園や同窓生の生き生きとした姿を伝えたい」。この一貫した編集方針が少しでも伝わっていれば幸いです。今後も学園と同窓生をつなぐ『会報こぶし』を楽しみにしてください。/記T.N

令和7(2025)年4月スタート

金沢工業大学「デジタル証明書(PDF)」が企業等に直接送れるようになりました！



平成15(2003)年4月以降の
卒業・修了生、退学・除籍者対象
※虎ノ門キャンパスは対象外

金沢工業大学

発行可能な証明書

- 卒業証明書/修了証明書
- 在籍期間証明書(退学者又は除籍者のみ)
- 建築士試験 指定科目修得単位証明書・卒業証明書
- JABEE認定プログラム修了証明書(認定者のみ)

■ 便利なPOINT

発行手数料は
コンビニ支払い

提出先の
企業等に
メールで送付

紙の証明書と
同様の信頼性

■ 事前に確認を

- デジタル証明書(PDF)の受け取りの可否
(オンライン送付の対応可否)
- 提出先の企業等の名称(証明書に印字されます)
- 証明書送信先の部署名・担当者名等
- 証明書送信先のメールアドレス

[各種証明書発行について]

大学の場合

- 金沢工業大学ウェブサイト
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/>
TOPページ → 卒業生の方 → 各種証明書発行



金沢工業大学

高専の場合

- 国際高専ウェブサイト
<https://www.ict-kanazawa.ac.jp/>
TOPページ → 卒業生の方 → 各種証明書発行



国際高専

第27回 こぶし会ゴルフ大会

仲間同士でナイスショット！

令和7(2025)年
9月20日(土)開催

石川県能美市
白山カントリー倶楽部
松風コース



木々に囲まれたコースの中で、会話を楽し
みながらプレーしませんか。詳細はこぶし
会ウェブサイトをご覧ください。

Golf

第29回 全国一齊ボウリング大会

令和7(2025)年
10月17日(金)～11月16日(日)開催

ボウリング大会は、家族と一緒に参加できるイベントとして
人気があります。各支部での開催会場などの詳細につきましては、
後日、こぶし会ウェブサイトでお知らせいたします。
皆さまの参加をお待ちしています。

- 参加資格 … こぶし会会員およびそのご家族
- 参加費 … 会場により異なります
- 会場 … こぶし会ウェブサイトをご覧ください

ご家族で気軽に参加ください！



Bowling

こぶし会を日本一の同窓会組織に！ 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7(1995)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、
満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。

80,000人を超える会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)

お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードにご記入の上ご返送ください。

対象者

- 保二会会員
- 高専同窓会 令和8(2026)年3月末日で40歳以上の会員
- 大学同窓会 令和8(2026)年3月末日で40歳以上の会員

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。

*令和4(2022)年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、
令和7(2025)年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させて
いただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますよう
お願いいたします。

こぶし会 事務局

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.<https://www.kobushi.jp>



こぶし会